

IRB番号「2021-GB-025」

研究課題名「切除不能肝門部領域胆道癌（胆管癌・胆嚢癌）に対するConversion surgeryの成績」

## 1. 研究の対象

西暦2012年1月1日から西暦2021年6月30日までにがん研有明病院肝胆膵外科で、肝門部領域胆道癌（胆管癌・胆嚢癌）に対し手術を受けられた方

## 2. 研究の目的・方法

肝門部領域胆道癌（胆管癌・胆嚢癌）は術前画像診断で切除可能である場合化学療法を行わず手術を行うUpfront surgery (US) が標準治療です。一方、局所進行や遠隔転移など切除不能と診断された症例のうち、化学療法の効果により切除可能になるConversion surgery (CS) の報告も散見され、ますが、まとまった症例数での報告はほとんどなく、化学療法後の手術の安全性や長期予後についての一定の見解は確立されておられません。本研究では当院で施行したCS症例の特徴を明らかにし、US群と切除成績、長期成績を比較し、その安全性・妥当性を明らかにいたします。

2012年1月から2021年6月までにがん研有明病院で手術を受けた胆道癌患者さんを対象としています。この方々の疾患情報や診療内容を診療情報から抽出します。この方法は後ろ向き観察研究という方法で、患者さんの負担はありません。

## 3. 研究期間

承認日 ～ 2025年12月31日

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、手術成績、術後合併症、予後等

試料：血液、術前画像診断、病理結果等

## お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人がん研究会有明病院  
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号  
実施責任者 肝胆膵外科部長 高橋 祐